

會員各位

副委員長 谷澤 薫

＜お問い合わせ先＞ 事務局 大石・長澤・荒井 TEL:048-647-4000

【別紙】

「2023 海外経済産業視察」参加申込書

2023 年 10 月 14 日(土)～10 月 18 日(水) 5 日間

埼玉経済同友会 事務局 御中

締切日：6 月 30 日(金)

月 日

会 員 名 _____

生年月日 _____

携帯番号 _____

<同伴の方>

お 名 前 _____

続 柄 _____

生年月日 _____

※いずれかに、○を付けてください。

◇ 航空機のご利用

() ビジネス () エコノミー

◇ ホテルのご利用

() 2 名で 1 室 () 1 名で 1 室

<通信欄>

《返信先》Eメール：saitamadoyukai@snow.ocn.ne.jp

F A X : 0 4 8 - 6 4 7 - 3 8 4 5

※返信の際、送付状は不要です。

埼玉経済同友会「2023 海外経済産業視察」 行程表

日程: 2023年10月14日(土)～ 2023年10月18日(水) 4泊5日

日	月日(曜)	地 名	現地時刻	交通機関	行 程	食 事
1	10/14 (土)	集 合 羽 田 発 台 北 着 台 南	0 7 : 0 0 0 8 : 5 5 1 1 : 3 0 1 2 : 5 0 1 4 : 4 6 1 6 : 3 2	J L 0 9 7 専 用 車 新 幹 線 (1651 便) 専 用 車	羽田空港国際線ターミナル 空路、台北(松山空港)へ 着後、ガイドの出迎えを受けご昼食へ ◎ご昼食「金品茶楼」(空港より15分) ご昼食後、台北駅へ 新幹線にて台南へ(グリーン車にて) ホテルへ(ホテル内もしくはレストランにてご夕食) (台南: シャングリ・ラ ファーマーズスタンプラザホテル台南)	昼: ○ 夕: ○
2	10/15 (日)	台 南 台 北	0 9 : 0 0 1 5 : 4 8 1 7 : 3 3	専 用 車 新 幹 線 (0658 便) 専 用 車	ご朝食後、観光 ◎観光(八田興一と烏山頭水庫観光ノ十鼓仁糖文) ◎ご昼食「阿美飯店」(蟹おこわ) ◎観光(市内観光: 赤坂楼等) 新幹線にて台北へ(グリーン車にて) ホテルへ ◎ご夕食「シンイエ 本店」 ご夕食後、「士林夜市」散策(希望者) (台北: 圓山大飯店泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
3	10/16 (月)	台 北	終 日	専 用 車	ご朝食後、企業視察・講演会 ◎視察「台湾 家電大手 聲寶(サンポ)グループ」 ◎視察「新竹サイエンスパーク※台積創新館(TSMC)含む」 ◎講演「台湾駐在の前日本商工会総幹事 山本幸男氏」 ◎ご夕食「加賀屋」にて懇親会 (台北: 圓山大飯店泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
4	10/17 (火)	台 北	終 日	専 用 車	ご朝食後、講演会・観光 ◎講演「オードリー・タン IT 大臣」 ※ホテル内バンケットルーム想定 ◎観光「総統府内見学」 ◎観光「龍山寺・中正紀念堂」 ◎観光「九份」「十分※天燈上げ」 (台北: 圓山大飯店泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
5	10/18 (水)	台 北 発 羽 田 着	1 4 : 2 0 1 8 : 3 5	専 用 車 J L 0 9 8	ご朝食後、視察・お買い物 ◎視察「圓山地下トンネル」 ◎お買い物2カ所想定 (免税店※エバーリッチ/土産物産) 帰国の途へ 通関後解散、お疲れ様でした。	朝: ○ 昼: ○

※3日目と4日目はオードリー・タン氏の都合により、入れ替わる可能性があります。

【講演】**1. テーマは調整中****デジタル担当大臣 オードリー・タン 氏**

1981年生まれ。高校には進学せず独学で「天才プログラマー」と称されるまでの知識・技術を身に付けた。15歳で出版社を創業、18歳で渡米しシリコンバレーで起業。33歳で経営の場から退き、IT企業の技術顧問やコンサルタントとして様々なシステム構築やアプリ開発に関わった。顧問を務めた米アップルでは、音声アシスタント機能「Siri（シリ）」の開発プロジェクトにも携わっている。



新型コロナ対策では、民間エンジニアの協力の下、マスクの在庫薬局を示す地図や濃厚接触者の追跡システムなどを開発し、世界保健機構（WHO）からも高く評価された。

2019年には、米国の外交政策専門誌『Foreign Policy』で「世界の頭脳100人」に選ばれ、「世界唯一のトランスジェンダー閣僚」として紹介されている。

2. 「台湾有事に伴う安全保障の最新事情を学ぶ」（仮題）**台湾協会台湾事務所長 山本 幸男 氏**

1948年大阪生まれ。1971年大阪大学経済学部を卒業後、大手商社に勤務。中国に16年間滞在した経験を持つ。2008年には台北市日本工商会、台湾日本人会に初の日本人専属総幹事として招聘される。

3.11東日本大震災では1億円の義援金を独自に集め、日本赤十字に贈るなど、台湾にて日本の被災地支援に尽力する。



台日文化経済協会、台日産業技術合作促進会や東海旭日ロータリーで社会貢献活動に参加するなど幅広い経験を持つ。

2017年より（財）台湾協会の台湾連絡事務所長。

【視察先】

1. 台湾家電大手製造会社 SAMPO corporation



エアコン、冷蔵庫、洗濯機、除湿器、調理器具、生活家電、液晶テレビ等の総合家電製品を製造・販売する台湾の大手家電メーカーで台湾証券取引所にも上場する企業。普段視察を受け入れていない

ので、訪問できる貴重な機会となる。日系企業とも長年にわたり取引をしており、日本企業の台湾有事に対する備えを学ぶことが出来る。

2. 新竹サイエンスパーク



「台湾のシリコンバレー」と呼ばれる新竹サイエンスパークは、台湾に科学技術産業を根付かせることを目的とした国家の計画経済の一環として、1980年に創設された台湾最大のサイエンスパーク。

東京ドーム140個分（653ヘクタール）の広大な敷地に、グローバルに活躍する台湾企業が本社や研究施設、工場を構えているほか、世界各国の先進科学企業の工場や支社も置かれている。

3. 台積創新館

台湾を代表する大企業、ファウンドリー最大手の台湾積体電路製造（TSMC）本社に付設されている台積創新館は、2016年12月に開館した近未来型の博物館で、TSMC創業と発展の歴史を学ぶと同時に半導体についての学びを深めることができる。

VR(仮想現実)技術を用いた展示施設も人気のスポット。



4. 圓山地下トンネル

今回宿泊する圓山大飯店内にある秘密の地下トンネル。以前は一般人の立ち入りが完全に禁止されていたが、2019年一般公開された。

秘密の地下トンネルの正体は、非常用避難ルート。地下トンネルはホテルの東側と西側にそれぞれ1本ずつあり、東側は全長67メートル。北安公園に通じており、西側は全長85メートルで剣潭公園に通じている。

台湾海峡を挟んだ向かい側からの空襲に備えての防空壕としても設計されており収容可能人数は最大約1万3,000人。ホテル宿泊者だけではなく、近隣住民も避難できるようにと設けられている。



【主な観光先】

《台南》

八田與一と烏山頭水庫観光

八田與一は、台湾では中学校の歴史教科書『認識台湾』に掲載され、最も尊敬される日本人として知られる。戦前台湾の農業用水施設としてのダムや関連施設を建設、最大の偉業は台南の烏山頭水庫（ダム）と嘉南用水路。



十鼓仁糖文（旧砂糖工場のテーマパーク）

十鼓文創園區は敷地面積が約5ヘクタールあり、日本統治時代に建てられた古い倉庫が16棟ある旧砂糖工場跡。2005年に打楽器パフォーマンス団体の「十鼓撃樂團」が経営を引き継ぎ、リニューアル。使われていないスペースの活用をコンセプトに、長年放置されていた百年近い歴史がある製糖工場に新しい息吹が吹き込まれた。



赤嵌樓(セッカシロウ)

台南最古の歴史建造物。1652年にオランダ人に創設されたもので、もとはプロビンティア城（オランダ語で永遠の意味）と言われていたが、後にオランダ人が建てたため別名「紅毛樓」。「赤嵌樓」と呼ばれる。



《台北》

總統府

總統府は1919年に日本政府の台湾総督府として建てられた。戦後は台湾総督府となり、各軍の最高司令部が置かれている。赤と白の壁が美しい異国情緒あふれる建物は台北のランドマーク。今回は内部を見学予定。



龍山寺

龍山寺は清朝 乾隆年間に建てられた250年以上の歴史を持つ台北最古のお寺。観音菩薩をまつる仏教の寺であるが媽祖、四海龍王、土地神など道教の神も一緒におさめた神仏衆合の寺でもある。



中正紀念堂

中正紀念堂は中華民国の初代総統、蒋介石を記念して建てられた。メインの紀念堂を主峰に見立て、国家戯劇院、国家音楽廳が左右に配されている。シンボルともいえる蒋介石の石像が置かれている正面中央の本堂では、衛兵交代式が行われている。



九份観光

1989年の台湾映画「悲情城市」のロケ地でノスタルジックな雰囲気醸し出す。『千と千尋の神隠し』のモデルとなったとも言われ、九份は台北郊外の観光スポットとして絶大な人気を誇る。



十分観光・天燈上げ体験

十分は台湾北東部にある自然が残る山間の街で、風景特定区に指定されている風光明媚な場所。天燈とは手作りの小さな熱気球のようなもので、好きな色の天燈を選んでメッセージを書き、願いを込めて空に飛ばす天燈火上げ体験を予定。

【ホテル情報】



1 泊目：10 月 14 日（木）

シャングリ・ラ ファーイースタンプラザホテル台南

（香格里拉台南遠東國際大飯店）

中国を拠点にアジア各地に展開するシャングリ・ラグループが台南駅の西口に建てたデラックスホテル。

「FE21 遠東百貨」というデパートに隣接して立つ 38 階建て高層ホテルは、台南市民のランドマークになっている。客室フロアは中庭に面した大胆な吹き抜けになっており、室内は扇形ながらも 39 m²とゆとりの広さを誇り、アースカラーでまとめられたアジアンテイストをとり入れた内装も上品で落ち着きがある。窓から望む、台湾八景のひとつとして知られる赤崁樓の美しい夕日も自慢の一つです。

創業 2008 年 総客室数 333 室

2 泊目以降：10 月 15 日（金）～17 日（火）

グランドホテル台北（台北圓山大飯店）



1952 年に蒋介石夫人である宋美齡氏が建てた、台湾第 1 号の 5 つ星ホテル。

1967 年に、アメリカの「Fortune」誌において世界 10 大ホテルに選定、また翌年には、アメリカの「ホリデイ・マガジン」において「一流ホテル」に入選し、「都会の喧騒に佇むオアシス」と称された。

現在に至るまで各国元首、使節、政府要人、著名人など 2000 名以上を招待、過去には、アメリカ合衆国のアイゼンハワー大統領、タイのプミポン国王、韓国の朴正熙

大統領、日本の佐藤栄作首相、シンガポールのリー・クアンユー首相なども宿泊。赤い柱と金の瓦の堂々たる優雅な外観、豪華絢爛でクラシカルな雰囲気、オリエンタルな芸術的美しさを際立たせており、台湾を代表するランドマークの 1 つ。

創業 1952 年 改装 2016 年

総客室数 500 室